

平成25年度第10回常任理事会議事録

日 時 平成26年2月22日（土）9時30分～12時20分
場 所 北海きたえーる小研修室
出席者 渋谷研一、黒田謙二、大江憲一、須田正毅
田中昌幸、杉木 恵、櫻庭功一、春間好実
碓井喜晴

<議長：杉木常任理事>

1 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、杉木常任理事、春間常任理事の以上3名を決定する。

2 あいさつ（渋谷理事長）

今年度事業もほぼ終了し、この後芦別でプレミアリーグ男子大会を控えている。

来月は決算の無い初めての理事会となるが、理事会に向け審議をよろしく願います。

3 協議事項

（1）平成26年度年間計画について

・年間スケジュール表で確認する。

（2）平成25年度第5回理事会について

①日時 3月15日（土）13時30分～

②会場 道立総合体育センター中研修室

・評議員会開催日程は理事会決定事項のため、第5回理事会で決定する。

・平成17年度以降、加盟団体となったヤングクラブ連盟から役員候補者を推薦できるようにする。規約改正が必要であれば5月の評議員会での決定事項となる。

・事業計画について協議する際の資料するため、各理事には昨年12月の第4回理事会議案をご持参いただく。

・資料は今月中に事務局へ提出する。その後、印刷し各理事へ事前に送付する。

（3）平成26年度第1回理事会・評議員会の開催について

①日時 5月31日（土）13時30分～理事会・15時30分～評議員会

②会場 道立総合体育センター中会議室

（4）役員選考委員会について

・役員の折返し年であるが、現在、後志協会は不在であるため推薦を受けるとともに、各加盟団体で変更があることを想定し、次回理事会であらかじめ、選考委員を選出しておく必要がある。

（5）平成26年度協会運営の基本方針について

・一部文言を追加し原案として理事会へ提案する。

（6）平成26年度の事業計画について

①総務委員会

・加盟団体やメディアなどとの連携を図る。

→スポーツ関係記者等との意見交換会を開催

・協会財政の健全化に努める。

・倫理規定を遵守し、体罰などの暴力根絶に努める

②競技委員会

- ・第22回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル開催地の釧路協会への協力。
- ・第29回「櫻田記念」9人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会開催地の札幌協会への協力。
- ・協議会の新しい運営の実施に努める。
- ・9人制普及活動の推進に努める。

③審判委員会

- ・競技会・講習会の円滑な運営を心がけ、より一層の信頼関係構築に努め、各道大会における開催地協会の運営経費節減に協力する。
- ・審判技術のレベル向上と人材の発掘・養成を各加盟団体と共に推進する。

④強化委員会

- ・ジュニア選手を中心とした強化を最重点とし、各カテゴリー（中学・高校）の北海道選抜チームでの全国大会上位進出を目指す。
- ・大学・社会人チームの活性化とあわせて、トップチームの指導者育成と資質向上を推進する。

⑤指導普及委員会

- ・小学生男子チームの育成普及及び指導者の養成に努める。（地区・小連と連携）
- ・小学生の競技者の増加に努める。

(7) 平成26年度の予算案について

- ・25年度は13カ月予算で2,700千円の基金繰入での計上だった。26年度は基金繰入をしなくても予算編成できそうである。
- ・収支で賦課金と助成費の団体名が違っていたので修正する。
- ・各委員会からの予算要望をチェックし予算計上した。
- ・全国大会（ソフトバレー、櫻田記念）に対し大会開催費の助成をする。
- ・実9、社会人予選会は実連の主管大会とし、開催経費が8万円削減される。

(8) その他

①新規大会について

- ・大会趣旨～バレーボールの普及と競技者の増加を図ることを目的とし、道協会登録を基本とするが、道クラブ連盟、実業団連盟、大学連盟の単一登録を受け付ける。
- ・6人制大会～全道を2分割しブロック大会を別日程で行う。なお、チームはどちらにも参加できることとする。
- ・9人制大会～全道一円の大会とするが開催地は道央エリアで行う。
- ・以上の内容をもとに要項案を作成して理事会に提案する。
なお、要項案については当日持ち込みになる。

4 報告事項

(1) 日協関係

- ・羽牟会長はあいさつで、ビーチの対応、プロモーションの大切さ、アジア連盟に入っていくことの重要性などを述べられている。

(2) 各委員会

①総務委員会

- ・きたえーるの使用料は増税+ α で値上される。
- ・道体協表彰に1名推薦する。

- ・芦別市で開催されるVプレミアリーグのチケット購入に協力願う。

②競技委員会

- ・高校新人大会の反省点の1つとして地元役員体制があげられる。

③指導普及委員会

- ・JOC 大会で参加資格に女子の身長が170cm以上でなければならない。実際に測定するケースがあった。
- ・長身者のレシーブ力が低い傾向にある。小連はローテンションを復活する見込み。
- ・指導者の育成として日体協コーチ、上級コーチを育成するため、平成27年度に向け、強化・育成基金の活用について検討していく。

④強化委員会

- ・JOCは勝つことをめざし、選抜方法を改める予定。身長の高い者も評価する。
- ・勝つことも経験であり、結果が問われるため、高校生で強いチームを作る。

⑤小 連

- ・男女混合の部が正式に決定し、来年度から男子、女子、混合の部の3部大会となる。なお、道新に優勝旗を提供いただける。ファミリーマートカップなども男女混合で対応する予定である。
- ・JVAゴールドプランアシックスバレーボール教室の報告
期 日：2月28日（土） 会 場：日高町門別スポーツセンター
講 師：桜井 由香 氏、大山 加奈 氏
参加者：児童135名、指導者13名、保護者（観覧者含む）約80名

⑥高体連

- ・27年度において、支部代表数を+αすることを検討する予定である。

5 その他

- ・特になし

6 閉会

【次回：3月15日（土）10時30分・北海きたえーる】